



みんなどうしてる？



リアルな声を聞いてみた！

おうちの

ジェンダー※・性教育

Aさん【3歳女の子の母(40代)】

たまたま知人から紹介されたタイミングで、プライベートゾーン(※1)に関する絵本、赤ちゃんがどうやってできるかの絵本を娘が2歳前後の時に買いました。

プライベートゾーンに関しては、それ以降「だいじだいじだからねー」とお風呂で洗うときに教えたりしています。

性教育については自分がちゃんと教わっていないので、何をどんなタイミングで親から伝えるべきか、特にセックスのこと、避妊のことを不安に思っています。

性教育も必要な教育だと思うので、ちゃんと知識のある専門家から年齢にあった性教育を受けられるようにして欲しいです。

Dさん【5歳男の子の母(40代)】

3歳の時に女性のスポーツ選手を見て「この人は女なのに、カッコいいねえ。不思議だねえ」と言うようになり、「性別とイメージ・役割・嗜好は紐づかないよ」ということを都度話してきました。

性教育をする時、被害や加害の話は避けて通れませんが、マイナス面(支配としてのセックス、性被害やDV、望まぬ妊娠など)が伝わりすぎて、性自体に嫌悪感を持ったりしないといいなあと心配しています。

学校での性教育は、国際セクシュアリティ教育ガイダンス(ユネスコ=編)にあるように、人権やジェンダーを基盤とした「包括的性教育(※2)」を基本カリキュラムで行ってほしいです。そのためには性教育に限らず、多様性を認識し、尊重してほしいと考えています。

また、性教育=セックスの方法を教える、というイメージになりがちなので、いっそ名称を変えたら良いと思っています。

Fさん【中1女の子、小4男の子の父(40代)】

性教育にはまだ取り組んだことはありませんが、聞かれたら答えようという心構えは持っています。ただ、積極的に親側から教えようとは考えておらず、子どもが自分で調べたり、学んでいくことに任せようと思っています。

「性教育」というと、なるべくなら避けて通りたいものと思ってしまう。

※ジェンダー：社会的、文化的につけられる男女の役割の違いによって形成される性別

Bさん【20代と高校2年生女の子の父(40代)】

子どもの性別が異性のため、性教育については妻に任せていました。妻とは折々、子どもたちが後悔することがないように上手く伝えて欲しいと話してはいました。

子どもが男の子だったら父親の立場からいろいろ教えるようと考えていましたが、女の子2人なので、言えることが少なかったです。

Cさん【小2女の子、5歳男の子の母(30代)】

娘が年長の時に、子どもに対する性教育は早いほど良いという話を聞いたり、記事を読んだので、小学校生活に対する不安もあり、恐る恐る性教育に関する絵本を買って読み聞かせました。経験者の方々のお話のとおり、幼いからかえって抵抗がないのか、すんなりと受け入れてくれました。

学校教育で追いつかない部分については家庭で補完するしかないので、自分でも性教育に関して少しずつ学んでいますが、特に息子に対しては踏み込んだ内容まで教えていく自信がありません。

Eさん【6歳と3歳の男の子の母(30代)】

具体的にいつから性教育をしたというのはありませんが、お風呂の時間には自分の性器は綺麗にすることなど、その時々合った話をするようにしています。

また、長男は前から『男は青、女は赤』と思うような子ではありませんでした。なので写真を撮る際に『ドレスが着たい』と言ってドレスで写真を撮ったこともあります。それを踏まえて、私は性の多様性については個人を尊重してあげられるよう、自分らしく生きることを話してきたつもりです。本人と同じく、他の子のこともそれぞれを認められるように長男とはそんな話しをよくします。

しかし、先日、就学前健診に行ったのですが、『男の子はどっちですか?』という問いがあり、紙には髪の短いズボンスタイルの子と、髪の長いスカートスタイルの子の絵があったそうです。それを聞いて、そもそもこの問題がおかしいのではないかと思いました。どんな意図で出した問題かわかりませんので、決して間違っているとは言えませんが、ジェンダーレス制服等が出てきている中で、まだまだこのような考えが世の中にあるのであれば、もっと息子達に色んな話しをしてあげたいと感じました。

※1 プライベートゾーン：水着で隠れる自分だけの大切なところ

※2 包括的性教育：生殖器官や妊娠についての知識の教育だけでなく、性交、避妊、ジェンダー、人権、多様性、人間関係、性暴力の防止なども含めた性教育の考え方

インタビューをしてみよう

子育てをしている皆さんにお話を伺うと、父親・母親の双方に「ジェンダー・性教育」について戸惑いや疑問があることがわかりました。一方、家庭内での教育には確実に成果があることも見受けられます。では、学校での「ジェンダー・性教育」は今、どうなっているのでしょうか。中野区教育委員会に聞いてみました。



中野区教育委員会に
聞きました

中野区のジェンダー・性教育ってどうなっていますか？

Q1 中野区のジェンダー・性教育のカリキュラムはどうやって決まりますか？

学習指導要領に基づいて、全小・中学校が性教育の全体計画及び年間指導計画を作成しています。また、教科書の選定は教育委員会が行っています。



Q2 カリキュラム内容はどうなっていますか？

小学校学習指導要領解説総則編及び中学校学習指導要領解説総則編の「心身の健康の保持増進に関する指導」という項目で性教育に関わる内容があります。

また、「性教育」については東京都教育委員会作成の「性教育の手引」（平成31年3月改訂）の活用を推進しており、性教育の授業を進める際に全小・中学校が「性教育の手引」を活用しています。

「学習指導要領」（文科省HP）→



「性教育の手引」（東京都HP）→



Q3 幼稚園、小学校、中学校では、それぞれどのような科目でジェンダーや性教育が行われていますか？

幼稚園

この時期はカリキュラムを組んでいませんが、男女混合名簿にしたり、服装や髪型についても男女を意識しないように注意しています。男の子のスカートや女の子のズボンなどで対応すべき状況が生じたら、男女で決めつけないことを教える場面はあります。実態に応じて、男女の違いやプライベートゾーンについて対応しています。

小学校（おもな取組例）

- 1・2年 生活科：学校と生活、家庭と生活、地域と生活、自分の成長
- 1～6年 特別の教科 道徳：友情・信頼、家族愛・家庭生活の充実、生命の尊さ など
- 1～6年 特別活動 学級活動：日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- 4～6年 理科：「生命」人の体のつくりと運動、動物の誕生
- 4～6年 体育科：（保健）体の発育・発達、心の健康、けがの防止、病気の予防
- 3～6年 総合的な学習の時間

中学校（おもな取組例）

- 社会科：私たちと現代社会、私たちと経済、私たちと政治、私たちと国際社会の諸課題
- 特別の教科 道徳：友情・信頼、相互理解・寛容、家族愛・家庭生活の充実、生命の尊さ など
- 特別活動 学級活動：日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- 理科：「生命」いろいろな生物とその共通点、生物の体のつくりと働き、生命の連続性
- 家庭科：「家族・家庭生活」自分の成長と家族・家庭生活、幼児の生活と家族
- 保健体育科：心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康な生活と疾病の予防
- 総合的な学習の時間

☆小学校低学年ではプライベートゾーンについて、実態に応じて養護教諭等による保健指導を行っている学校もあります。

☆「避妊」「中絶」は高等学校で扱う内容なので、小中学校の標準的なカリキュラムの内容にはありません。

☆在籍する児童・生徒の状況から学習指導要領に示されていない内容（避妊、中絶など）を指導する必要があると校長が判断した場合には、事前に学習指導案を保護者全員に説明し、保護者の理解・了解を得てから児童・生徒を対象に実施することなどは考えられます。



Q4 中学校での「医師等の外部講師を活用した性教育授業の実施」は進んでいますか？

A

学習指導要領に示されている性教育の内容をすべての生徒に確実に指導するとともに、生徒が適切に意思決定や行動選択ができる力を身に付けさせることを目的として、産婦人科医を講師として「性教育の授業」を実施しています。

Q5 中野区教育委員会として他に取り組んでいることがあれば教えてください

A

人権尊重の理念を正しく理解し、多様性を認め、共生社会の素地を育むことができるよう、多様な教育活動の推進に取り組んでいます。

教育委員会指導室の委嘱委員会として設置されている人権教育推進委員会において、人権課題「性同一性障害者」「性的指向」への偏見や差別意識の解消について、令和2年度にモデル授業を行いました。



最後に・・・

学校と保護者が連携を図りながら、適切に性教育を行っていくことが大切であり、子どもたちの発達段階に応じて、学校での学習を生かしながら、家庭でも、安全で健康な活力のある生活を送るための基礎が培われるようにすることが大切、とお答えいただきました。家庭ではどのようなことができるか、考えてみたいと思います。

中野区江原町にある「よしの女性診療所」の院長で産婦人科医の吉野一枝先生に

①東京都の性教育に関する取り組みと、②家庭での性教育のアドバイスをいただきました！

1 日本では元々保健の授業で男女に分かれて小学校4、5年のころに月経教育を行っていましたが、それでは性教育としては不足していました。今でも昔のままの性教育の学校が多いですが、少し動きが出てきています。

2020年に東京都の「性教育の手引」が改訂され、小学校、中学校、高校を合わせたガイドラインとなり、包括的性教育の視点が入りました。学校での性教育も少しずつ増えていますよ。私は東京産婦人科医会というところで、学校に性教育の講師として産婦人科医を派遣するをしていました。2010年ごろから開始して、都立高校250校のうち、一番多いときは50校くらいに派遣していました。さらにアクセルがかかるというときに、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため数が落ちてしまいましたが、増加の流れにあります。

産婦人科医だけでなく、助産師や他にも性教育の講師を派遣する団体がありますから、実施している学校は増えていると思います。そして高校だけではなく、中学校でもと提案をして、2018年度にモデル授業がスタートしています。ただ、1年に1コマでは伝えきれないところも多く、基本だけというのも現状です。

2 家庭で始める性教育の第一歩目は、男の子も女の子も、プライベートゾーンは人に見せたり触らせたりする場所じゃないよって教えてあげることです。早いと思われるかもしれませんが、4、5歳頃に、「おちんちん」とかが言葉に出たり、興味があるときがスタートとしてはいいですね。

そして、プライベートゾーンは自分で洗う習慣をつけさせましょう。お風呂は実は児童虐待の温床なので、5歳くらいからは異性の親とは別に入ることをおすすめます。

セックスや避妊は、小学校4年生くらいまでに話すと素直に聞いてくれます。周囲から変な情報が入った後だと逆に素直に聞いてくれません。その前に家庭で教えてあげることが大切です。

知識がないほうが性被害にあいやすいです。知識がないと、変なことをされても「言うな」と言われれば素直に聞いてしまいます。

早めに教えることで自分を守ることができるので、ぜひ考えてみてください。

家庭は大切な学びの場の一つ。両親や大人が対等なやり取り、会話をするのもジェンダー・性教育には大切なポイントです！



吉野先生、お忙しい中ありがとうございました！（編集委員一同）

編集委員のおすすめ、ジェンダーや性教育に関する本

**おうち性教育ははじめます
一番やさしい!防犯・SEX・命の伝え方**
フクチマミ 村瀬幸浩著
/KADOKAWA



メグさんの性教育読本
メグ・ヒックリング著
三輪妙子訳/ビデオ・ドック



産婦人科医の吉野先生
おすすめ、カナダで長年
性教育の活動をしている
メグ・ヒックリングさんの本です。



メグさんの女の子・男の子からだBOOK
メグ・ヒックリング著
三輪妙子訳/築地書館
お子さんと一緒に!

どちらも絵柄や内容がソフトなので、子どもに渡しやすいです。性教育について口頭で伝えることに抵抗があるとき、本に頼るのも良い手かと思います。



**マンガでわかる
オトコの子の「性」**
染矢明日香著/合同出版社



**12歳までに知っておきたい
女の子の心と体ノート**
保健師めぐみ監修/ナツメ社

最近のジェンダーや性教育について、わかりやすく教えて!という方に。全編ほぼ漫画なので、さらっと読めて苦痛じゃない!パートナーや子育てで友達にもおすすめしやすい入門本です。



男女共同参画センターからのお知らせ

女性に対する暴力をなくす運動パネル展 (令和3年11月12日~25日)を開催しました。

毎年11月12日から女性に対する暴力撤廃国際日の25日までの2週間は男女共同参画推進本部が定めた「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。区では中野駅ガード下ギャラリー「夢通り」で開催しました。

← 内閣府作成ポスター「傷つけた方が悪い。性暴力に言い訳は通らない。」

中野区からのご案内

子育てに関する総合相談

令和3年11月に、「子ども・若者支援センター」(中央1-41-2)が開設されました。18歳未満の子どもとその家庭に関するあらゆる相談をお受けしています。「どこに相談したら良いかわからない」ときまずはご連絡ください。

03(5937)3257
平日午前8時30分~午後5時

若者相談

「子ども・若者支援センター」では、義務教育終了後から40歳未満の若者とその家族に関する相談をお受けします。困りごとや悩みごと、ささいなことでもご相談ください。

03(5937)3271
平日午前8時30分~午後5時



編集後記 from 区民編集委員

- 取材を通して、一步一步ですが、日本の性教育も進んでいると感じました。悲しい思いをする人が出ない世の中にしていけるよう、社会の一員として努めていきたいと思ひます。(川村)
- 我が家も3歳の娘がおり、性教育について改めて考えるいい機会になりました。親側が恐れず、事実を伝えていきたいと思ひます。(北)
- 編集中に包括的性教育というグローバルスタンダードに辿りつきました。こども世代をエンパワーメントでできるよう、今後も少しずつ勉強していきたいと思ひます。(長谷川)

●お問い合わせ・連絡先●

〒164-8501 中野区中野4-8-1 区役所内 4階9番窓口
Tel 03(3228)8229 Fax 03(3228)5476
Eメールアドレス danjosenta@city.tokyo-nakano.lg.jp

中野区男女共同参画センター アンサンブル

内容について、ご意見、ご感想をお寄せください。